
新潟市新亀田清掃センター
整備・運営事業

落札者決定基準

令和6年4月

新潟市

新潟市新亀田清掃センター整備・運営事業 落札者決定基準
目 次

第1 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化評価	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化評価	6
5 総合評価値の算定方法	6
第4 提案書の定量化評価における評価の視点	7
第5 提案書に関するヒアリング	9
第6 評価結果等の公表	9

第1 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

新潟市新亀田清掃センター整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、一般廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「新潟市新亀田清掃センター整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、新潟市（以下「市」という。）が本事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、図1に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

市は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

市は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを審査する。なお、基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。ただし、市が軽微な不備・不足と考えるものにあつては個別に事業者を確認し、提案書全体に影響を及ぼすような重大な問題がなく、部分的な訂正や対応の確認のみで問題ないと判断したものについてはその限りでない。

新潟市新亀田清掃センター整備・運営事業に係る事業者評価委員会（以下「委員会」という。）は、市の基礎審査結果について報告を受ける。

イ 提案書の定量化評価

委員会は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す評価基準及び得点化方法に従って評価し、市に報告する。

ウ 開札及び入札価格の確認

市は、入札書に記載された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化評価

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価し、市に報告する。

オ 総合評価値の算定

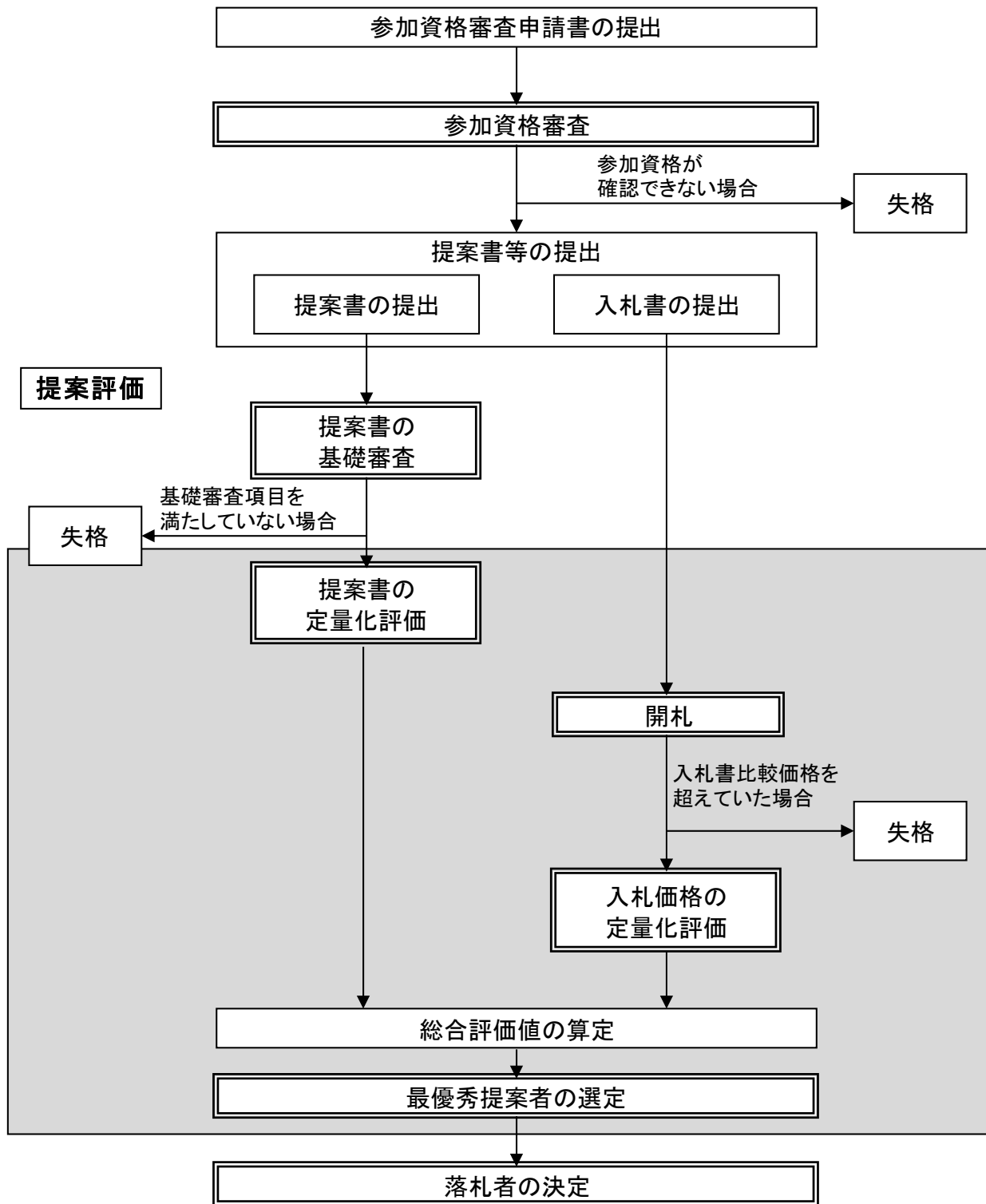
委員会は、提案書及び入札価格の定量化評価における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として市に報告する。

キ 落札者の決定

市は、委員会の評価結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が2者以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※委員会の事務は図中網掛け部分（開札は除く）

図 1 落札者決定の手順

第2 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」を参照すること。

第3 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について遵守していること。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化評価

(1) 提案書における評価項目及び配点

提案書の定量化評価の配点、評価基準及び得点化方法については、施設整備の5つの基本方針である「環境にやさしい」、「安心・安全」、「低炭素社会を推進」、「災害に強い」、「経済性」を基にして評価項目を設定した。

評価項目の中項目として「環境負荷が少なく、周辺環境や周辺住民に配慮した施設」、「安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設」、「省エネルギーで効率的なエネルギー生産が可能な低炭素社会形成を推進する施設」、「災害に強く強靭性を有する施設」、「経済性・効率性に優れた施設」、「工事計画、事業の実施体制及び管理計画等」の6つを設け、市が本事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより表1のとおり設定した。したがって、評価項目は、市が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

評価項目及び配点は、表1のとおりである。なお、各評価項目における評価基準等の詳細は、「第4 提案書の定量化評価における評価の視点」を参照すること。

表 1 評価項目及び配点

審査項目				配点
大項目	中項目	No.	小項目	
1 事業提案に関する事項				60点
	(1) 環境負荷が少なく、周辺環境や周辺住民に配慮した施設	1	公害防止基準満足のための取組み	4点
		2	優れた処理技術の導入	3点
		3	景観及びデザイン	3点
	(2) 安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	4	基本性能の維持及び長寿命化	5点
		5	処理システムの安定稼働	3点
	(3) 省エネルギーで効率的なエネルギー生産が可能な低炭素社会形成を推進する施設	6	省エネルギーへの配慮及び売電電力量の最大化	5点
		7	環境学習計画	3点
	(4) 災害に強く強靭性を有する施設	8	防災機能を有する施設	3点
		9	トラブル対策及び災害廃棄物の処理	5点
	(5) 経済性・効率性に優れた施設	10	直接搬入車両に係る搬入・搬出管理の効率性	4点
		11	屋外配置動線計画	3点
		12	屋内配置動線計画	3点
	(6) 工事計画、事業の実施体制及び管理計画等	13	事業実施体制及び人員配置	3点
		14	全体工事計画	3点
		15	リスク管理及び対処方法	3点
		16	経営計画及び事業収支計画	3点
		17	地域への貢献	4点
2 入札価格に関する事項				40点
	(1) 入札価格			40点

(2) 事業提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている評価項目においては、次の表2のとおり、5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 2 評価基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.00

イ 各評価項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式①【事業提案の得点算定式】
$\left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right] = \frac{\sum (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数(7名)}}$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化評価終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化評価

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格においては、次の算定式②により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式②【入札価格の得点算定式】
$\left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に対する得点} \end{array} \right] = 40\text{点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化評価」、「4 入札価格の定量化評価」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式③【総合評価値の算定式】
$\left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right] = \left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right]$

第4 提案書の定量化評価における評価の視点

委員会は、各評価項目について、評価基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。

なお、各項目については、表3に示す評価の視点に対して、各入札参加者の過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 3 提案書の定量化評価における評価の視点

評価項目				評価の視点	配点	
大項目	中項目	No.	小項目			
1 事業提案に関する事項					60点	
(1)	環境負荷が少なく、周辺環境や周辺住民に配慮した施設	1	公害防止基準満足のための取組み	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減を図るため、本施設の各公害防止基準を確実に遵守するとともに、経済的及び効率的な運転管理方法について、実効性と妥当性を期待する。 	4点	
		2	優れた処理技術の導入	<ul style="list-style-type: none"> 優れた処理技術の導入による安定性や効率性の向上、また、最終処分量の低減に期待する。 	3点	
		3	景観及びデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の景観及び環境との調和に配慮し、また、焼却施設のイメージアップが図れる施設計画及びデザインを期待する。 維持管理性・経済性にも考慮した外観・意匠に優れたデザインを期待する。 	3点	
	(2)	安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	4	基本性能の維持及び長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新の各対応について、計画性と妥当性を期待する。 35年間の本施設の使用を前提として、運営期間終了後の維持補修費を低減するための設計における工夫及び点検・維持・補修計画の実効性を期待する。 	5点
			5	処理システムの安定稼働	<ul style="list-style-type: none"> ごみ質や処理量の変動に対する良好な燃焼状態の維持のための設計及び運営の方策について、計画性と実効性を期待する。 	3点
	(3)	省エネルギーで効率的なエネルギー生産が可能な低炭素社会形成を推進する施設	6	省エネルギーへの配慮及び売電電力量の最大化	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力量及び二酸化炭素排出量の最小化について、計画性と妥当性を期待する。 高い発電効率や効率的な操炉計画等による売電電力量の向上を期待する。 ごみ質や処理量変動に対し、効果的な発電を行う計画の妥当性を期待する。 	5点
			7	環境学習計画	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理全体における焼却施設の役割や処理方法を学べるとともに、廃棄物処理を通して、ごみの減量や分別、脱炭素等の関心を引き出すための創意工夫(ハード面、ソフト面)を期待する。 施設への理解の向上、見学対応の円滑さ、陳腐化の防止を図る工夫に加え、維持管理性・経済性にも配慮した見学・啓発設備を期待する。 	3点
	(4)	災害に強く強靭性を有する施設	8	防災機能を有する施設	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における施設の安全な停止及び早期復旧と安全運転の継続を実現するための方策について、具体性と妥当性を期待する。 一時的な避難所としての周辺住民の受入れに配慮した設計、受入対応への協力について実効性と妥当性を期待する。 	3点
			9	トラブル対策及び災害廃棄物の処理	<ul style="list-style-type: none"> 災害や事故(ごみピット火災含む)・不具合等のトラブルを防ぐための対策及び発生時における対応の迅速性及び方策について、具体性と実効性を期待する。 災害時や本施設以外での緊急時対応等による一時的なごみ受入の増加に対する受入体制、ごみの貯留、施設稼働日数の考え方について、実効性と妥当性を期待する。 	5点
(5)	経済性・効率性に優れた施設	10	直接搬入車両に係る搬入・搬出管理の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 直接搬入車両について待機列の低減が図れる効率的かつ安全、円滑に受付、荷下ろし、精算する計画の実効性を期待する。 繁忙期における直接搬入車両の車両集中対策について、具体的な提案を期待する。 直接搬入受入ヤードにおける搬入者の安全確保や円滑な選別物の搬出管理に対する計画性と実効性に期待する。 	4点	
		11	屋外配置動線計画	<ul style="list-style-type: none"> 建設用地、搬入・搬出車両の条件を踏まえた安全に配慮した施設配置や敷地全体の効率的な動線計画について、計画性と妥当性を期待する。 施設見学者・田舟の里利用者・市職員の安全に配慮した出入口の設置や田舟の里利用者の利便性に配慮した動線計画について、実効性と妥当性を期待する。 多様な搬入・搬出車両に対する分かりやすい場内誘導・サイン計画の構築について、創意工夫を期待する。 	3点	
		12	屋内配置動線計画	<ul style="list-style-type: none"> 受入供給設備、貯留、移送、投入作業、保管、搬出等の配置動線計画について、安全性と効率性を期待する。 施設の運転・維持管理における安全性や作業性を考慮した各諸室や機器の配置、メンテナンススペースの確保、配置について、計画性と妥当性を期待する。 	3点	
(6)	工事計画、事業の実施体制及び管理計画等	13	事業実施体制及び人員配置	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施における各企業の役割分担と責任体制が明確であり、代表企業による総括管理や市との協議体制について、実効性と妥当性を期待する。 設計・建設における施工体制が適切に構築され、確実な施工と安全確保に向けた管理体制・手法等の実効性と具体性を期待する。 運転管理体制において、各々の業務分担が明確であり、必要な人員配置計画であることを期待する。 持続可能な運営・維持管理を図るための運営期間中における技術者育成、研修制度、教育計画等について、計画性と実効性を期待する。 	3点	
		14	全体工事計画	<ul style="list-style-type: none"> 工期遵守のための工程管理方法や現施設の運営、周辺環境や周辺住民に配慮した工事計画を期待する。 擁壁工事、地下水対策、地下部解体等の本事業における特性を踏まえた工事工程遵守のための計画の具体性、創意工夫による効率的かつ安全性の高い計画を期待する。 	3点	
		15	リスク管理及び対処方法	<ul style="list-style-type: none"> リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響の極小化を可能とするリスク管理方針及び管理体制の構築を期待する。 事業期間を通じて、必要かつ十分なセルフモニタリング(事業計画のモニタリング)の内容及び頻度、市の行うモニタリングへの協力について具体性と妥当性を期待する。 	3点	
		16	経営計画及び事業収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業期間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 長期にわたる事業継続性の担保、運営事業者の財務リスクの最小化に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。 	3点	
		17	地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 本事業における地元企業の活用、地元からの資機材の調達、地元雇用等に配慮した計画の具体性と実効性を期待する。 本事業の運営において、適正な施設管理、安定運転を確保しつつ、運転人員等で最大限地元を雇用するための人材育成にも配慮した計画の実効性を期待する。 	4点	
2 入札価格に関する事項					40点	
(1)	入札価格				40点	

第5 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の評価及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6 評価結果等の公表

評価結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。